

スマホを持たずに旅に出る

行ったことがない国にひとりで行く。しかも、その国の言葉がまったくできない。そんな旅に出るときは、出発前から不安と期待で胸がドキドキします。しかも、出発直前にスマートフォンが壊れたら……。ドキドキも倍増します。

これはわたしが数年前、ひとりである国に行ったときの話です。わたしは大きめのバックパックに数日分の服や洗面用具、カメラをつめて、空港へ向かいました。準備万端！と、思ったのですが……。「これから行ってきます」と、家族にメッセージを送ろうとしたとき、突然、スマホの画面が真っ暗になりました。そのあと、何度も電源を入れようとしたのですが、だめでした。一瞬、「日本の空港でスマホを借りていこうかな」と思いました。でも、なぜか、それとほぼ同時に「スマホを持たないで旅を試みよう」という考えが浮かんだのです。科学技術の発展に反発したい、とか、次々に届くメッセージから自由になりたい、とか、まじめな理由があったわけではありません。ただなんとなく、本当になんとかなく、スマホを持たないで行ってみようと思っただけです。

日本を出発して、途中、ある国で乗り継いでから、目的地に着きました。出発してから、だいたい17時間くらいかかりました。飛行機の中や空港では、いろいろなところに英語が書いてありますから、スマホがなくても大丈夫でした。

でも、^{くうこう}空港の外に^{そと}一歩^{いっぽ}出た瞬間^{で しゅんかん}から、^{みぎ}右も^{ひだり}左もわからない^{じょうたい}状態になりました。
わたしは^{おも}思いました。「これは……^{たの}楽しい！」

それから^{しゅうかん}2週間、わたしは^{なんにん}何人^{ひと}の人に^{たす}助けてもらったでしょう。レストラン
で^{こま}困っていると、^{ほか}他の^{きやく}お客さんや^{みせ}お店の^{ひと}人が^{みぶ}身振り^{てぶ}手振りでお^{りょうり}すすめの料理
を^{おし}教えてくれました。バスの^の乗り^{かた}方がわからなかったときは、^{ほか}他の^{りょこうしゃ}旅行者に^{おし}教え
てもらいました。車^{くるま}を^か借りてドライブ^いに行ったときは、^{いなか}田舎^{まち}の町で^{まいご}迷子になり
ましたが、^{じもと}地元^{ひと}の人が^{たす}助けてくれました。その^{ひと}人は^{にほんご}日本語も^{えいご}英語もわかりません
し、わたしはその^{くに}国の^{ことば}言葉が^{まった}全くわかりません。でも、その^{ひと}人は、^{とも}友だち^{とも}の友
だちの^{とも}友だちに^{でんわ}まで電話をして、わたしの^い行きたい^{ばしょ}場所への^い行き^{かた}方を^{しら}調べてく
れました。おかげで、^{ぶじ}無事に、その^{ばしょ}場所へ^い行くことができました。今^{いま}でもどうや
って^{コミュニケーション}コミュニケーションをしたのか、あ^{わたし}のとき、^か私たちが^{かいわ}交わした^{かいわ}会話はどん
な^{ことば}言葉だったのか、よくわかりません。よくわからないのに、^{こころ}ちゃんと^{つう}心が通
じ^あ合いました。

もし、いつもどおり^{スマホ}スマホを^も持って^い行っていたら、わたしの^{たび}旅はも^とっとつまら
な^{おも}かったと思います。困^{こま}ったとき、^{まわ}周りの^{ひと}の人に^き聞かずに、^きスマホに^き聞いてしまっ
た^{こと}ことでしょう。スマホ^な無しの^{たび}旅は、^{いっしょうわす}一生^{わす}忘れられない^あたくさんの^あ出会いをく
れました。

(1082字)

(2021.4 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.